

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 の改定について

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について

1 概要

- 国は、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すため、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改定し、令和4年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定した。
- 本市では、総合戦略と一体的に策定するとしている「桐生市第六次総合計画後期基本計画」が令和6年度から開始となる予定である。
- これらのことを踏まえ、「第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改定する。

2 改定の考え方

計画期間 令和6（2024）年度までの計画期間を3年間延長して令和9（2027）年度までとし、総合計画と終期を合わせる。

| 西暦（年度） | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 令和（年度） | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |



- ・計画期間の延長（+3年間）
- ・総合計画後期基本計画と合わせた内容の見直し

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について

主な見直し内容

- 引き続き「総合計画後期基本計画」において重点施策とする“人口減少克服・桐生ならではの地方創生”に対応するための施策をまとめるものであり、**基本的な方向性は変わらない**。
- 主にデジタル化や公民連携などに関する施策を追加し、従来の4つの基本目標に加え、横断的な取組である「**基本目標5 計画推進のために必要な視点**」を追加。
- 目標値と実績値に大きく乖離のある指標について、**目標値を再設定**。
例：基本目標2・(3)観光の振興：観光消費額、観光入込客数（資料5 P9） など
- 取組の進捗を測るKPIとして、適当ではないと考えられる**指標の再設定**。
例：基本目標1・(1)しごとと環境の創出：武井西工業団地の雇用者数→製造業新規立地数（資料5 p6） など

基本目標1 地域の資源を生かした魅力ある雇用を創出する

- (1) しごとと環境の創出 (2) 地域産業の活性化 (3) 農林業の活性化

基本目標2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

- (1) シティブランディングの推進 (2) 移住・定住の促進 (3) 観光の振興

基本目標3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

- (1) 婚活支援等による若者の支援 (2) 妊産婦・子育て世帯・子どもへの包括的な支援と相談支援の充実 (3) 安心して子育てができる環境整備 (4) 特色ある教育の充実 (5) 教育研究・相談機能の充実

基本目標4 将来を見据えた地域の特徴に応じたまちづくり

- (1) 誰もが活躍できる地域づくり (2) 健康で文化的な生活環境づくり (3) 安全・安心なまちづくり (4) 自然・歴史・文化を生かしたまちづくり (5) 将来を見据えた交通基盤の整備

基本目標5

計画推進のために必要な視点

- (1) デジタル化の推進 (2) 公民連携の推進
- (3) 効果的で効率的な財政運営

○「桐生市人口ビジョン」における目標とする将来人口

2040年に約83,000人、
2060年に約61,000人の人口を維持

○数値目標 (2022 ↓ 2027)

・社会増減数
151人減 ↓ 90人減

・出生数
361人 ↓ 400人

改定スケジュール

総合計画

庁内

総合戦略

